

2021年10月28日

報道各位

一般社団法人日本自動車車体補修協会
代表理事 吉野一

JARWAは「OBD点検」の啓発ポスターを作成しました ～全国の自動車整備工場に向けてWEBでの無償配布を開始します～

一般社団法人日本自動車車体補修協会_JARWA（東京都千代田区 吉野一代表理事）は、2021年11月1日から、全国の自動車整備工場に向けて「車の性能維持にはOBD点検が必要なこと」「点検には料金が発生すること」を啓発するポスターのWEBでの無償配布を開始します。

配布は、JARWA会員（ヤマダ車検提携整備工場を含む）には会員限定ポスターを加えて11月1日（月）からEメールで配信、一般整備工場向けには11月15日（月）からJARWAホームページでの無償ダウンロード開始とする予定です。

2021年10月1日より、一部を除くほぼすべての自動車を対象に、12ヶ月毎の定期点検項目に「車載式故障診断装置（OBD）の診断の結果」、いわゆる「OBD点検」が追加されました。

また同日より、自動車の検査の際に支払う法定手数料に、自動車メーカーが提供する故障診断に必要な情報管理、全国の検査場（車検場）や整備工場が利用する情報システムを運用していくための費用として、（独）自動車技術総合機構の技術情報管理手数料が追加（1台あたり一律400円）されました。

さて「OBD点検」は、衝突被害軽減ブレーキのような先進安全装置搭載車において装置の誤作動による事故を抑止する大変重要な点検項目ですが、整備工場にとっては明らかな工数増加となるので、増加分を点検料金に反映させる必要があります。

ところが、車検のタイミングで点検を行うユーザーの場合、同日より自動車検査手続きに関する手数料の合計金額が値上げとなったため、整備工場が点検料金の値上げをユーザーに言いづらい環境であることも事実です。

またその前段階として、整備工場はユーザーに「OBD点検」の内容と重要性を理解していただく必要もありますが、場合によっては説明する側の理解すら不確かなため、これも容易ではありません。

そこでJARWAは、『見えない安全を「見える化」して安心に』をキャッチフレーズに、全国の自動車整備工場に向けて「車の性能維持にはOBD点検が必要なこと」「点検には料金が発生すること」をユーザーに啓発するポスターを作成しました。

作成したポスターは、国土交通省が作成した「法定点検におけるOBD点検の啓発ポスター」とあわせて活用することを前提に、提案の対象車両を主に「法定点検以外のタイミングでのOBD点検」としてあります。

具体的には「法定点検以外のタイミングでのOBD点検」を提案する対象を「ぶつけちゃった」「こすった」「中古で買った」という車両に限定、すなわち対象を「安全に走行できる状態である否かを確認する必要性が高い車両＝有償点検の提案を過剰整備と受け取られない状況の車両」に絞り込むことにより、工場にとってはお勧めしやすい、ユーザーにとっても自然に受け入れやすい構成としました。

ポスターには、自社で設定した作業料金をマジックで書き込めるスペースを配置し、来店したユーザーが料金まで含めて自然に認知できるデザインとなっています。

国土交通省が作成した「法定点検におけるOBD点検の啓発ポスター」とあわせて、法定点検時の「OBD点検」、法定点検以外のタイミングでの「OBD点検」のどちらの場合でも「車の性能維持にはOBD点検が必要なこと」「点検には料金が発生すること」をユーザーにご理解いただくためのポスターとしてご活用ください。

※ポスターはPDFデータでの提供となります。

※ポスターには「JARWAバージョン」と「無印バージョン」の2種類があります。

※PDFデータはJARWAのHPから誰でもダウンロードが可能です。

※ポスターの著作権はJARWAに帰属しますが、印刷、複製、他者へのデータ提供、自社ホームページへの画像データの埋め込み、SNSでのデータ利用などは無償で許諾します。

※ポスターデザインやPDFデータの改変はご容赦ください。

以上

■一般整備工場におけるポスターのPDFデータのダウンロード方法

①JARWAで検索しHPトップへ

②NEWSで「20211115【ポスター】OBD点検_JARWAバージョン」又は「20211115【ポスター】OBD点検_無印バージョン」の文字をクリック

③ご利用のWEBブラウザの機能でダウンロード